

## 運輸安全マネジメントに関する取り組み

- 1 輸送安全に関する基本的な方針  
輸送の安全こそが事業の根幹であり、すべてに優先するという意識を全従業員が認識し、一丸となって輸送の安全性向上に努めてまいります。
- 2 輸送の安全に関する目標及びその達成状況
  - ① 平成30年度目標
    - ・丁寧な作業を行い、安全・安心を確立し、自動車事故報告規則第二条に規定する事故の撲滅。
    - ・有責事故発生件数(軽微な物損事故を含む)を20件以内といたします。
    - ・うち構内事故発生件数を10件以内(リフト事故含む)にいたします。
  - ② 平成29年度達成状況
    - ・「高速道路での追突事故」の発生はありませんでしたが「交差点での出会い頭衝突事故」が1件発生しました。
    - ・有責事故件数(軽微な物損事故を含む)は49件で、前年より8件減少しました。目標には29件未達でした。
- 3 自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計  
該当する事故が1件発生しました。
- 4 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統と事故災害時の報告連絡体制  
別紙Ⅰの通り組織を構成し、別紙Ⅱに従って事故・災害の発生情報を共有、対応します。
- 5 輸送の安全に関する重点施策
  - ① 安全管理規定、関係法令を遵守し、輸送の安全を確保します。
    - ・対面点呼の実施
    - ・小集団ミーティングによる安全意識の向上
  - ② 積極的かつ効率的な投資により、輸送の安全性向上に努めます。(カッコ内 30年度予算)
    - ・永年無事故表彰(3,500千円)
    - ・年間無事故店表彰(825千円)
    - ・デジタルタコグラフおよびドライブレコーダー運用費用(1,600千円/月)
  - ③ 日々のコミュニケーション強化により、従業員の安全意識向上に努めます。
    - ・ドライブレコーダーの活用によるKYT指導
    - ・ドライブレコーダーの活用による注意挙動・危険挙動でのヒヤリハット指導
    - ・バック時の3秒ルール(前後左右上下の確認)を定め、安全確認の指導
  - ④ 教育及び研修の計画を策定し、これを着実に実施いたします。(カッコ内 30年度予算)
    - ・安全運転研修会の実施(2,670千円)
    - ・外部機関(安全運転中央研修所・中部トラック総合研修センター・はりま交通研修センター)運転者研修の推進(2,400千円)
    - ・安全運転指導者による新入社員への指導、乗務許可の発令
    - ・事故惹起者への再教育ならびに添乗指導による乗務許可制の実施
    - ・指導監督者研修の実施(網干総合教育センター)
    - ・各店所での安全会議による安全運転教育の実施
  - ⑤ 働き方改革を推進し、過労運転の防止に努める。
- 6 輸送の安全に関する内部監査の実施
  - ・安全輸送部長が店所を順次年1回以上巡回し、別紙Ⅲ「内部監査実施チェック表」を作成して監査を実施してまいります。
  - ・輸送の安全の確保に向けた取組みの確認とPDCAサイクルが適正に機能しているかどうかの監査は内部監査部が年1回以上実施します。
- 7 安全統括管理者  
専務取締役 荒木卓嗣
- 8 安全管理規定  
別紙Ⅳの通りです。